
孤独と一枚切手と

ネムリンコフ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

孤独と一枚切手と

【Nコード】

N5576V

【作者名】

ネムリンコフ

【あらすじ】

切手を探しているのに見つからない話

「俺に残されたのはこの一枚の手紙だけだ。しかし、だ。切手はどこだ？」

切手がなければ、俺はどこにもこの手紙を出せないじゃないか。おい！切手よ！どこにいる！？」

彼は散らかった机の上をかき回した。しかし切手は一枚たりとも出てこない。

彼はその後もなんども机の上も引出しの中も調べたが、そこにも切手は見当たらない。

もはや切手は失ったと思い、しかしそれでも諦めきれず、落ち着かず、

暗い部屋の中をうろつろつとただ無意味に歩き回っていると、

どこからか声が聞こえた。

「……ああ、ぼくはここだよ……。遠い遠い国にいるんだ……。」

切手の声だ。彼は確信した。きつての声を聞いたことはこれが初めてのことだったが、

彼はその声が切手であると確信した。しかし部屋のどこを見渡してもやはり切手の姿は見えない。

「遠い国だって！？そりゃいったいどこだ！」

彼はどこから届いた声かも分からず、部屋中を見回しながら怒鳴った。

すると、今度はどこからかしくしくと泣き声が聞こえてきた。

「そんなに怒らないでくれよ……。おいら今すつごく不安なんだ……。ここは遠い国だし……。おまけにおいら一人ぼっちだからさ……。」

それだけ言うと、切手はまたしくしくと気弱に泣き出した。

しかし彼はそんな切手の様子など気にすることもなく、また怒鳴って言った。

「おめえが泣こうが知ったこっちゃねえ！おめえが出てこないこと

には俺だつて永遠にここで過ぐすかゴミになるしかねえんだ！

切手よ、おめえはどこにいるんだ！遠い国っていったいどこだ！？」

しかし切手はもう答えようとしなかった。ただひたすら、しくしくと泣き声がどこから聞こえてくるだけである。

最初は威勢良く怒鳴っていた男も、徐々に静かになり始め、仕舞いに彼も切手と同じようにしくしくと泣き出してしまった。

すると、先ほどまで黙っていた手紙がやっとこさ口を開いて言った。「なにさ！封筒の奴！ちよつと前まで偉そうにアタシを口説いてたくせに！切手がないと何も出来やしないじゃないのさ！

さあさあ切手ちゃん、そんなに泣かないで、アンタがどこにいるのかアタシに教えて頂戴ね？」

しかしいくら手紙が優しい声を出そうと、切手はただしくしくと泣くばかりで何も言わない。封筒もしくしくと泣くばかりで何も言わない。

そして手紙もやっぱり、仕舞いにはしくしくと泣きはじめるのだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5576v/>

孤独と一枚切手と

2011年10月9日13時27分発行